

海老名市立今泉小学校 学校運営協議会 議事録
(令和6年度 第2回)

1. 日 時 : 令和6年9月25日(水) 13:30~15:00
2. 場 所 : 海老名市立今泉小学校 CSルーム
3. 出席委員 : 木島智恵美委員長、守屋佐千子副委員長、中野隆則委員、和泉雅幸委員、岩崎恵委員、和田修二委員(校長)、中島忠相委員(教頭)、金指太一郎委員(校長補佐)

4. 会議の内容(進行:金指校長補佐)

(1) 開会挨拶

木島委員長:季節が移り替わりました。また、運動会の準備もスタートしました。本日はよろしく願いいたします。

(2) 学校長挨拶

和田校長:今年は、本当に暑い夏が続きました。やっと涼しくなり、運動会準備も出来るようになりました。今回は、第2回の学校運営協議会となります。当初は、児童の参加を予定していましたが、かなわず、代わりにステップルームを担当する職員による説明を予定しております。本日はよろしく願いいたします。

(3) 学校の様子について

○和田校長 ~ 学校だより「すだじい405号~408号」をもとに説明 ~

木島委員:「今フェス」は、体育館改修工事に備えて、例年の11月から6月に変更して実施しました。そのため、準備等について苦勞が多くありました。また、児童数も多いことから、混乱する場面もありました。次年度に活かしたいと思えます。なお、多くの地域のみなさんの献身的な参加により支えられました。

和田校長:熱中症について、この夏の子どもたちの過ごし方をみなさんはどう感じていられますか。

岩崎委員:涼しい場所(木陰や土のある場所)で遊ばせるようにしていました。やり方次第で野外でも遊べると感じました。

木島委員:日中は、外に出ても子どもたちの声が聞こえませんでした。

中野委員:ららぽーと等、クーラーの効いた場所で子どもたちを見かけました。

木島委員:夏のプール利用はどうなっているのでしょうか。

和田校長:利用券の発行はありますが、バスの運行はしていません。

和泉委員：昼間は太陽が出ているから外で遊ぶのは無理でしょう。
中島教頭：みなさんの地域では、ラジオ体操はやっていませんか。
中野委員：国分北では、やっています。
中島教頭：家の地域（国分寺台）では、夏休みの前半、後半と生活習慣を戻すためにラジオ体操をやっていきます。
和田校長：今泉小学校では、熱中症予防としてWBGT（暑さ指数）の本来の基準より1℃下げて新学期をスタートするなど、対策を講じてきました。
木島委員：修学旅行の冊子のイラストは良く描けていますが、6年生のものですか。
和田校長：マンガ・イラストクラブに所属する6年生が描きました。
木島委員：修学旅行は、どこを見学しましたか。
和田校長：日光江戸村で食べ歩き、華厳の滝、日光東照宮などです。
木島委員：他校では、日光江戸村は勉強ではないということで、行かない時期があったと聞いています。

（4）「インクルーシブな今泉小学校」について

○和田校長 ～ 「こどもタウンニュース」をもとに説明 ～

菅野先生：ステップルームは、教室に入ることが難しい児童が一時的に安心して過ごせる場所です。落ち着くためのクールダウンスペースもあります。
職員体制は、支援員1名＋菅野先生の2名体制で、児童一人一人に対する寄り添った支援をしています。
守屋委員：素晴らしい取り組みですね。不登校の児童がステップルームに来られるようになった際には、どのような様子ですか。
菅野先生：放課後週1回とか、3時間だけとか限定的にでもステップルームに来ることで、昨年より学校に来られるようになった児童もいます。
和田校長：本校の不登校（全く学校に来ることが出来ない）の割合は、低い状況です。
菅野先生は、子どもに寄り添い、接し方や励まし方が非常に上手です。
木島委員：菅野先生のような方がいらっしゃるからステップルームが機能していると思います。
守屋委員：市の「えびりーぶ」は、実質、中学生しか受け入れておりません。そういった意味からもステップルームの役割は大きいと思います。
和田校長：今年度から、市内全校にステップルームが設置されています。
菅野先生：担任のステップルームへの理解が進んでいるので、頻繁にステップルームに顔を出してくれるようになりました。また、保護者も関心を持ってきています。
和田校長：ステップルームでは、①自分を出せる。②自己肯定感が強まるなどの子どもにとってキッカケとなります。
木島委員：いままでは大丈夫だったけど、急に学校に行きたくなくなる子もいますか。
菅野先生：います。ステップルームが居心地よくて長引くケースもあります。

岩崎委員：子どもたちにはステップルームをどのように周知していますか。

菅野先生：ステップルームは、「いつでも、誰でも行ける場所です。2階のど真ん中にあるから遊びに来てごらん。」と話しています。

守屋委員：他校のステップルームの人員配置は市費で対応いただいているのでしょうか。

和田校長：はい。支援員の配置は市費で対応しています。

去年ステップルームに来ていた子が、今年は来なくなっているのを見て、菅野先生はどのように感じていますか。また、ステップルームに通うのは、低学年が多いのですか。

菅野先生：クラスで楽しくやってくれている姿を見るとうれしいですし、頑張った甲斐があったと感じます。また、ステップルームに通うのは、低学年が多いです。

守屋委員：私の子どもも不登校の時期がありましたが、大人の対応一つで大きく変わると感じています。

(5) 令和6年度全国学力学習状況調査の結果について

○和田校長 ～「令和6年度全国学力・学習状況調査 学校の調査結果」をもとに説明

～

和田校長：本校の「令和6年度全国学力学習状況調査」結果は、国語、算数共に多くの項目で全国平均を上回るなど、大変良好でした。また、児童質問紙の学習及び生活についても概ね良好な結果でしたが、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いませんか。」との問いに対し、「当てはまる」と回答した割合が全国比-10.1という結果になりました。

和泉委員：児童質問紙の「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いませんか」との問いに対し「当てはまる」との回答が全国比で低いとの話がありましたが、設問自体が難しいのではないのでしょうか。ただし、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いませんか。」という問いに対し「当てはまる」の回答が全国比で低いということについては、リアルにまざいと感じます。

岩崎委員：どういう状況での問いなのでしょう。

和泉委員：いじめについては、どんなことでもダメ。これについては、更なる分析が必要ではないのでしょうか。

木島委員：この結果は、子どもたちに伝えましたか。

和田校長：教職員には既に伝えてあります。今後、道徳の授業等で各先生から子どもたちに伝えていくことになると思います。

岩崎委員：何でいじめても良いと思うかをアンケートなどで把握したらどうでしょうか。

和泉委員：中学、高校に進むにつれて「いじめ」はエスカレートする可能性があります。

す。ここで芽を摘む必要があるのではないのでしょうか。

和田校長：本校が進める「インクルーシブな学校づくり」の『みんなちがってみんないい。』を進めることによって、いじめを未然に防止したいと考えています。

また、本校では、しいのみ級に在籍する児童であっても通常級で一日の大半を過ごしたり、体育や図工の授業だけを通常級で受けたりするなど、ともに学ぶ工夫をしています。

和泉委員：いじめは、先生の一言がその原因になることがあります。

岩崎委員：P T Aの会議で、「大人が幸せでないから子どもが幸せでないのではないか。」といった意見も出されていました。

木島委員：あそびっ子クラブで子どもたちと接している中で同様に感じることもあります。ご家庭での接し方も大切だと思います。

(5) 情報提供

特になし

(6) 閉会挨拶

守屋副委員長：本当に活発な議論をしていただきました。本当にありがとうございました。